

# 業務速報

国鉄労働組合名古屋地方本部  
発行責任者：亀井 和弘  
編集責任者：鶴山 章  
2018.3.19 No.532



## 工務関係解明要求に対する回答を受けて議論

2月13日に業務委員会が開催され、昨年の12月15日に申し入れていた「工務に関わる解明要求」申2号の回答を受け、議論した。

国労側出席者：三浦特別執行委員・岩田副執行委員長・鶴山書記長

会社側出席者：荒尾課長代理（管理部人事課）・松田係長（管理部人事課）・他1名

### ◆在来線工務関係組織の再編・統廃合についての解明要求

1. 今回の提案内容、各保線区や支区の再編を行う理由、目的はなにか明らかにすること。

【回答】技術の高度化、専門化を踏まえ、施設・電気の保守体制をより、安全で効率的な体制とするべく、組織を再編するとともに必要な設備の整備を行う。専門技術の高度化に対応するため、工務部・工務区を施設・電気に分離する。管理、指導や異常時対応を強化し、より効率的な業務執行体制とするため、現業機関を集約して規模及び配置を最適化する。以上により、安全・安定輸送の強化を図る。

2. 今回の組織の再編は全体の施設社員の削減を目的とした「合理化」提案なのか明らかにすること。

【回答】会社が必要と認め、組合側に説明をおこなったものである。要員は別途提示する。

3. 各保線区・支区の基準人員を明らかに

すること。

【回答】明らかにする考えはない。

4. 各保線区・支区の境界を明らかにすること。

【回答】具体的な境界は未定である。

5. 各保線区の所在を他に移転させる目的は何か明らかにすること。

【回答】管理指導や異常時対応を強化し、より効率的な業務執行体制とするため、現業機関を集約して規模及び配置を最適化する。

6. 同一地の保線区・電気区の境界が異なるケースが生まれるか明らかにすること。

【回答】保守管理を行う設備の位置により、施設及び電気の境界が異なるケースもある。

7. 今回の保線区、支区の再編、統廃合に伴い、協力会社の施工範囲や受け持ち箇所に変化が生じるのかどうかを明らかにすること。

【回答】境界が変更となるのであれば、関

係会社のエリア変更もありうる。

8. 今回の統廃合により、勤務地の所在地の変化で通勤時間や通勤経路の変更が生じる社員も発生するが、社員の配転が生じるかどうか明らかにすること。

【回答】要員は別途提示するが、再編後の業務内容を勘案して適切な要員配置を行う中で人事異動が発生する可能性はある。

9. 今回の再編、統廃合により現在の受け持ちエリアより保守範囲が拡大する保線区が発生するが、異常時の初動の列車の立ち上がりに影響が発生しないか明らかにすること。

【回答】職場数は減るが、職場規模を拡大することで異常時対応拠点は増えるため、異常事対応は強くなる。

10. 転勤や配転に伴う社員が発生する場合、本人の生活設計を含め本人の希望を聞き取る面談等を行う用意があるのか明らかにすること。

【回答】人事異動については業務上の必要性に基づき、会社が適切に判断して実施する。

#### ◆列車見張員のヘルメットへのカメラ装着実施後の要求

1. ヘルメットへのカメラ装着治具を簡単に装着できる物に取り替えること。

【回答】適宜適切に対応している。

2. ヘルメットへのカメラ装着をいつまで行うのか、期日を明らかにすること。

【回答】会社として必要と認める限り、継続して実施していく。

3. 録画した画像や音声の活用実態を明らかにすること。

【回答】映像確認をする中で、推奨事項に対しては褒める取り組みを行い、また指導事項に対しては対面指導を実施している。また、推奨事例や指導事例については教育資料として活用している。

#### 組織再編

【組合】1項だが、今の職場が違う箇所に変わる職場もあれば、変わらない職場もある。変わらない職場に対してはそのままということで良いか。

【会社】そうである。

【組合】統廃合ということだが、保線区が少なくなって支区が増えるということか。

【会社】概要としてはまだ未定である。

【組合】現在は保線、電気と同じ職場にあって様々な打合せが出来やすい状況にある。やりとりをしながら仕事を進めていっている。そういうことが無くなっていくような不安や問題があるかどうか。

【会社】系統で違いはあるが、同じフロアに居て毎日顔を合わせている方が依頼しやすいのはあるだろう。しかし、例え離れていたとしても普段から打合せを行ったりしていくことは可能である。東海道線はすでに分かっているが打ち合わせに支障をきたしている訳ではなく、普段からの打合せや訓練等で連絡を密にする必要はある。

【組合】建物の場所が変わるとかはあるのか。

【会社】集約する中で場所を決める。変えるとするなら耐震化に対応していく。

- 【組合】2項だが、今回の施策で無くなる職場や地域があるかと思うが。
- 【会社】業務自体は無くした支区については周りの支区に集約していく。今、本区・支区で行っている業務を大きく変えることは考えていない。支区をどう集約して行って業務分担も踏まえて要員の精査をしていく。
- 【組合】3項だが、今の支区の要員は増えるということの良いか。
- 【会社】要員は別途、提示する。
- 【組合】4項だが、無くなる支区がある。例えば、岡崎保線区の三谷保線支区だが当然他の支区が三谷支区のエリアを管轄することになると思うが要員はどうなるのか。
- 【会社】まだ決まっていない。道路事情や様々な精査をしてということになる。

## 異常時、初動が遅れる

### —組合—

- 【組合】5項だが、担当エリアを超えて業務を執行することとなるが、より効率的になるのか疑問がある。ひとつの支区の受け持ち範囲が広くなり、本当に効率的になるのか。異常時だが、対応が今でさえ相当時間がかかっている、そうなるさらには初動が遅れるのでは無いか。
- 【会社】現行、管理者1名で一般社員数名体制、何かあった時に対処出来る人が少なかったりする。そうでは無くて何かあった時に支区であったり、派出でしっかり対応出来るように支区なり派出なりの規模を大きくしてということを考えている。異常時にそこだけで対応できない、本区から応援ということにもなるが、結局応援が来る前に何も出来ないということになると時間がたってしまうので一

緒なので、支区・派出を大きくしてまずに対応できるようにするとそれで異常時に対応できる拠点として数としては減るが、実際に人数が居て対応できる拠点としては増える。異常時対応も問題はない。

- 【組合】今、ある支区でも初動が噛み合えば遠い所から現場に駆けつけなくてはならない。そういう所を危惧する。会社としては列車を早く運転再開ということだろうかその時間はどうか。
- 【会社】最初に支区なり派出が到着する時間は長くなるかも知れないが、現地に対応して列車を動かすまでになる時間で考えると本区からも応援に行くまで線路内に入れなとか対処出来ないということもある。そうではなくて、支区・派出を規模を大きくして人間が居たら対応できると。運転再開までのト列の時間としては短くなるということである。
- 【組合】本区が到着するまで線路内に入れない。現場に入る時間が遅くなる。
- 【会社】その時間は長くなる。ただ、安全確認は出来た、すぐ列車を走らせるといようなものではない。そうではなくて何らかの対処が必要なのかも知れない。本区から到着しないという時に支区・派出から行って対処出来るというケースもあると思う。
- 【組合】6項だが、回答では施設及び電気の境界が異なるケースもあったがどうか。
- 【会社】境界はまだ決まっていない。各系統で設備等がどこにあるかということなど様々な精査が必要である。
- 【組合】保線からすると調整会議等打合せを行っているが、その不徹底等が危惧されるがどうか。
- 【会社】調整等は想定しているが、まずは各系統毎に行って合わせれば良いかと

と思うが、合わせられない点は会議で  
確り調整していくということであ  
る。Jネットが配備され情報共有や交換  
がやりやすくなっているはずであ  
る。

【組合】 3区調整会議がメインになってくる。  
停電等で色々と難調整をしている  
が、さらに難しくならないのか。

【会社】 電力の停電は境界とは合わない、今  
も合っていないと思う。例えば、今  
は3kmを調整することもあれば10  
kmになっても調整はしているので  
新たにアクションが増えるということ  
は無いと考える。何回も手間が増え  
るということではない。

【組合】 7項だが、協力会社の受け持ち範囲  
だが、四日市保線区は桑名支区が名  
古屋保線区、四日市支区が松阪工務  
区に再編予定ということで、四日市  
支区は名工建設となるのか。

【会社】 まだ、決まっていないが調整は必要  
だろう。今後、検討していくことと  
なるか調整し、変更は生じてくる。

【組合】 四日市支区の管内は名工建設という  
ことか。

【会社】 検討中である。

【組合】 保守範囲が変わってくるが、その都  
合で協力会社の業務上、工事施工等  
で移動時間が増えてくるとされる  
がその費用は上乘せするのか。

【会社】 未定である。

【組合】 当然、費用の引き上げは必要と考  
える。

【組合】 8項だが、在勤箇所が無くなる社員  
に対しては希望は聞くのか。例えば、  
四日市保線区で桑名支区なら名古屋  
保線区とはなりたくないとする社員  
もいるかもしれない。

【会社】 今回の組織再編においても基本的な  
考え方は同じである。

【組合】 9項だが、繰り返すが再編で移動時  
間が増えることもある。考慮して要

員配置をすべだと考えるがどうか。

【会社】 繰り返すが、支区としての規模を大  
きくして再編化して異常時等はただ  
ちに対応出来るようにする。

## 拠点は増えても 社員が居ない 一組合一

【組合】 対応拠点が増えても、要員数や現場  
を熟知した社員がそこに居ないと機  
能的には即応性という面でどうなの  
かを危惧するがどうか。

【会社】 拠点というのは人が例えば何かあ  
った時に確り対応できる場所。支区  
の数は減るかも知れないが、何かあ  
った時に人がそこに居て対応出来る  
のが拠点である。

【組合】 現場からの声が上がっているので述  
べる。特にエリアが変わって夜間工  
事の際に移動のための時間、これに  
拘るが交通事故の発生も危惧する。  
夜間作業の終了後、眠気もあり危険  
が伴う。会社の指導としては眠気  
をもよおしたら車を止めて仮眠を摂  
れと指導されていると思うが、生  
理上も有害業務になる負担に加え  
て移動時間の増加が懸念される。会  
社として、これを機に一定の予納  
的なハード対策として業務用自動  
車へのシート、すべてとは言わな  
いが安全装置配備を求めたい。社  
員自身への負担を求めるのでは無  
く、会社として設備でも一考され  
たい。

【会社】 運転支援をと言うことだが、最後  
はやはり運転者である。設備配備  
については構わないと思うが、設  
備が着いたから安全に直結するも  
のでもない。例えば、車対車なら  
確かにリスク低減するかも知れな  
いが、対人間、対障害物となると  
どうか。負担が軽減されるという  
図式にはなりにく

い。

## 現場の声を聞くべき —組合—

- 【組合】 軽減では無くサポートする、要は社員ばかりと言っては何だが、一定保守範囲が拡がれば、負担も増える。精査し、検討していくというなら、現場の声を聞いていくべきだ。
- 【組合】 10項だが、毎年の調査票に将来の生活の根拠地を聞いているが、範囲があまりに広すぎる。〇〇県などと細かく問えないのか。
- 【会社】 慈善事業で行っているわけではないので希望は希望として聞くがすべて叶うとはならない。
- 【組合】 ヘルメットの1項だが、駅付近では一時的にフェイスガードを下げた旅客等を撮影しないようにしている。操作しやすいモードの扱いなど改良できないのかという声が出ている。
- 【会社】 ヘルメットバンドが付けにくい、ゴムが切れてしまうなどの声は聞いている。最適だと選んだものであるが、今後将来的に一体となったものなどの検討もしたい。
- 【組合】 列車見張り本来業務の上にかまの扱いが生じる。
- 【会社】 かまは列車見張り員の負担を無くそうと最初に扱えば触らなくて良い。負担が増えないようにしたい。
- 【組合】 2項だが、装着期間は一年、二年を考えているのか。
- 【会社】 今の段階では、良い行動をしている作業員もいる。そういう所など褒める題材としても必要。今後の検討課題でもある。いつまでと言われても言えないが、初期の目的が達成されるのであれば他の手段もありうるが、現時点ではこれがベストである。
- 【組合】 立入前の列車確認を行っていれば大丈夫だと会社は言っているが、プラス

かまとなっているがその必要は無いのではないかと。

- 【組合】 この施策そのものについてだが、組合員からは「個々の録画・録音した音声で常に監視感が強い」と聞いている。ガイドラインを作成し、配備しているようだが、「プライバシーを監視するものではない」と明記されていないのか。
- 【会社】 目的をうたっている。「監視する」目的とは一切書いていない。
- 【組合】 監視していないのなら、ガイドラインに明記して社員からの疑念を払拭するべきではないか。
- 【会社】 使用目的を限定してある。「プライバシー保護に関しては取扱を厳正にしている」とうたっている。
- 【組合】 明記されているのか。
- 【会社】 保護のために情報、データなどの取扱が厳正に行われている。

## 同意を得て使用を —組合—

- 【組合】 しかし、疑念はある。公開し、教育に使用したりするわけだが、申でも議論したが撮影の非対象者の同意を得て教育なりで使用すべきであるが現在その様に使用されているのか。
- 【会社】 例えば、何か悪いこと、基本動作をしていない、こういう場合は注意した方がよいなど教育資料として使用したい。使えば、誰かということはわからないように顔を隠したりだとか、マスクをかけたたりだとか行う。
- 【組合】 しかし、ほぼ特定できてしまうのではないかと。そもそも本質の議論だが、本社・本部間でも安全経協で一連の事故の原因を軌道工事管理者や列車見張り員が故意や理解不足により発生したことが主たるものと回答があった。かまの装着自体で結果を探ることは出来るが未然防止として、「手

抜き」をしないように撮るのが主な目的。事故の未然防止にはなり得ないと思う。結果が映るだけではないか。

【会社】例えば、こういう指導を展開することによって聞いた人は「危なかった」、「まずかった」と気づき次回からはちゃんと話をしてやろうという点で未然防止になる。忘れないようになれば未然防止になる。指導されれば、今度から気をつけようとなる。

## 信頼感の醸成を —組合—

【組合】「本質を探究する」と言われている点からいえば、甚だ疑問である。施策自体に社員の不満がある。基本動作を行っているにも拘わらず、敢え

てカマを付けて行わせる。やはり、「安全文化を育む」前提となる信頼という点では「強要」、「犯人捜し」で行われている。信頼感を醸成するようなやり方では無いと考えるがどうか。

【会社】「犯人捜し」で監視しているカマでは無く、決められたことを100回中100回やって頂く。これが「素晴らしいこと」、「当然のこと」なんだと実感するために行う。

【組合】承知したとはいかない。カマで管理者が確認しないと信用できないということか。万策尽きたということか。

【組合】持ち帰り、解明要求があれば、改めて申し入れるので対応されたい。

【会社】了解。

以上